

配信開始日

7/11(金)

受講期限 / 配信期限 2026/7/10(金)

科目

択一式全科目

☆単体でのお申込はできません。

回数

全61回

対象者

- 今までの学習法に行き詰まりを感じている方
- インプット又はアウトプット学習の偏りがある方
- コンパクトで受験に最低限必要な論点が凝縮されているテキストをお探しの方

使用教材

- オリジナルテキスト「受講料込」
- OnlineStudy上への問題冊子・解説冊子、レジュメWebアップはございません。
- [板書]の取扱い
 - 各自Web上にて閲覧・プリントアウトでご利用いただけます。
 - 発送対応いたしません。

タイムスケジュール

前半講義
(85分)休憩
10分後半講義
(85分)

担当講師



根本 正次
LEC専任講師

「アウトプット→インプット」をバランスよく行って、効率よく、記憶を定着させていこう

「一生懸命勉強しているはずなのに点数が伸びない」という受験生の中には、知らず知らずのうちに「インプットだけ」「アウトプットだけ」と偏った学習方法を取っている方が数多く見受けられます。ぜひ本講座のインプットとアウトプット一体型のテキストを使って、バランスの良い学習をしていきましょう。

POINT 1

インプットとアウトプットを一挙にできる 画期的なテキストです

本講座のテキストは、見開きで
(左ページ)「○×式の肢別問題」
(右ページ)「まとめ図表」
というレイアウトにしています。

これにより、

- ×問題で間違えたものを、まとめ図表でインプットできる
 - まとめ図表で覚えたものを、○×問題で確認する
- ことができます。

このテキストをこなすことによって、受験において必要な知識のインプット・アウトプットを、この一冊で完了できるでしょう。

POINT 2

こだわったのは学習の効率化です

司法書士試験は量との戦いになるため、必然的に学習の効率化が求められます。ただいたずらに「テキストを読むだけ」「問題を解くだけ」では非効率的ですので、一定の工夫が必要です。この講座は、テキスト・講義・復習のすべてに効率化を意識したものにしています。具体的には以下の3点です。

- インプットとアウトプットが一体化している
 - 講義受講後に、どの問題を解けば良いか悩まずに済む
 - 問題演習をすることが、講義の復習になる
- アウトプットは「講師が選んだ必須過去問」「答練問題の抜粋」「予想問題」に厳選
 - 一つの教材に集中して学習できる
- インプットは論点ベースに、図表を中心に掲載
 - 無駄を省いた学習ができる
 - 問題にでていないところも、図表で確認できるため派生論点が掴みやすい

POINT 3

もっとこだわったのは、記憶の定着化です

司法書士試験では、本試験当日に多くの知識を記憶していることが求められます。そのため、普段の学習から理解することはもちろんのこと、それ以上に記憶することを強く意識すべきです。本講座は、記憶を定着させるためにも、色々な仕掛けを施しています。

- 講義内で問題を解く、その後、その部分の説明を受ける
 - 自分のできないところがわかるから、今記憶すべきところが明確になる
- インプットとアウトプットが一体化している
 - 「問題を解いて」「講義で説明を聞いて」、「復習時に問題を解く」というプロセスを踏むことによって、1つの知識に3回あたることができる
- 結論の説明をする講義ではなく、その考え方・理由付けにこだわった根本の講義
 - 印象深く知識を入れることができる

POINT 4

一括配信だからできる、早期の弱点対策等!

こちらの講義は、2025年向け対策で収録したものを、全科目一気に配信します。

- これにより、
- 弱点科目を強化したい
 - 特定科目の実力を底上げしたい
- といった受講生一人一人のニーズに応えられるようになっています。

法改正があった部分については、補足講義を実施します。また、2025年向けでは重要ではなかった論点でも、2026年向けでは対策が必須なものはしっかりフォローします。

記述の力を落とさない！解き方を徹底的にマスターする



記述の解き方マスター講座

◎記述の解き方マスター講座は、全ての回を新規収録しています。

SB26325

配信開始日

7/11(金)

受講期限 / 配信期限 2026/7/10(金)

科目

不動産登記法・商業登記法

☆単体でのお申込はできません。

回数

全10回

対象者

- 記述の力を維持し続けたい方
- 記述対策を何から始めるべきか悩んでいる方
- いきなり答練の難しい問題に取り組むのには、気遅れする方

使用教材

- オリジナルテキスト〔受講料込〕
☆2024・2025年精撰答練〔頻出論点記述編〕の内容と重複する部分がございます。予めご了承の上でお申込みいただきますようお願いいたします。
- OnlineStudy上への問題冊子・解説冊子、レジュメWebアップはございません。
- 〔板書〕の取扱い
○各自Web上にて閲覧・プリントアウトでご利用いただけます。
- 発送対応いたしません。

タイムスケジュール

前半講義
(85分)

休憩
10分

後半講義
(85分)

担当講師



根本 正次
LEC専任講師

解き方を学び、実践しながら、記述学習の核を作ろう

この講座では、記述の解き方を学習し、それを問題を使って、実践演習を通して身につけていきます。

講義では、解き方はもちろんのこと、実体法の知識の確認、記述テクニック、ひな形のポイントも説明していきます。

この講座をこなすことによって、「解き方」「知識」「ひな形力」が固まっていき、年明け以降の記述学習の核を作ることができるでしょう。

POINT 1

無駄のない合理的な記述の解き方を学ぶことができる。

記述問題は、たくさんの情報を一気に捌くことが要求されます。そして、時間制約がある以上、無駄な作業をすることはできません。

この講座では、記述の解き方を、実際の問題を使って説明します。

「どういう順番で事実関係を読み」「どういった情報を後回しにするか」「メモの仕方」など、実際に講師が行っている解き方を画面上で紹介します。

これにより、無駄のない合理的な記述の解き方を学ぶことができます。

POINT 2

各10問ずつ解いて、解き方を身につける

この講座では、不動産登記法10問、商業登記法10問を解いていきます。1回目で学んだ解き方を、9回かけて実践していくため、実践を通じて解き方を身につけることができます。

ちなみに、本講座で使用する問題は奇抜なもの、細かい知識が必要になるものではなく、「オーソドックスな形式」の「合格者であれば、絶対に知っている知識」を問う問題を使用しているため、繰り返し学習にぴったりなものになっています（過去に実施された「精撰答練〔頻出論点記述編〕」の問題を主に使用しています）。

POINT 3

解き方だけでなく、記述の基本論点を習得できる

この講座では単に解くだけではなく

- ・実体法、登記法の知識の確認
 - ・○○があつたら、・・・に注意
 - ・△△の登記が来たら、・・・をチェックすること
- といった記述テクニックの伝授も行います。

この講座を使えば「解き方」だけでなく「知識」「記述テクニック」まで充実させることができます。

本試験後、年内の記述学習は、この講座を軸に行えば十分でしょう。

POINT 4

ひな形対策も万全『ひな形テンプレート集』

配点変更後の司法書士試験では、表現のミスの積み重ねが致命傷になります。

この講座では解き方・論点だけではなく、根本講師作成のひな形集を使ってひな形対策も行います。

[ひな形集の特徴]

不動産登記法…物権変動のイメージ図・申請書に加えて、「これがあつたらこう変わる」という申請書の変形バージョンを掲載。

商業登記法…申請書・添付書類・無効事由チェックポイントがほぼ1ページでまとまっている。

本講座の問題を解きながら、このひな形集を攻略して自分のものしましょう。